

ジュニアライフセーバー プログラム 2026

◆ 入会のご案内 ◆

- 期 間 2025年4月～2026年3月 全24回開催予定
□日 時 毎月 第2・第4日曜日 8:00～11:00
※テントや器材など準備をして7:50とのあみ前集合
※振り替え、変更等はその都度ご連絡いたします。
※11月～1月はプール(アクラブ藤沢)での活動となります。
- 場 所 ビーチクリーン&サーフレッスン 片瀬・鵜沼海岸
レクチャー サーフビレッジなど
- 対 象 小学1年生～6年生
定員80名 ※定員になり次第締め切ります。また、年度途中での追加募集はいたしません。
- 内 容 別紙、年間スケジュール予定表ご参照ください
- 会 費 登録費 2,000円 (クラブ年会費になります。保険代込み。)
月会費 4,000円 (プログラム参加費になります。)
- 申込み インターネット申し込みのみとなります。以下のURLからご登録ください。
<https://forms.gle/2Qw4WJnRAiNsQLWs5>
- 期 限 **3月20日《金》23:00まで インターネット申込締め切り**
- 主 催 NPO法人 西浜サーフライフセービングクラブ



- 初回オリエンテーションを、4月12日(日)に開催予定です。
保護者の皆様は、必ずご参加いただきますようお願いいたします。子どもたちは別途活動いたします。
- プログラム参加にあたり、西浜サーフライフセービングクラブジュニア会員として登録していただきます。
- 悪天候等により中止の場合、当日朝7時までに、公式LINEにてご連絡いたします。
※下記、公式LINEの案内を参照。
- なお、中止の場合は、振替開催を予定しております。振替日は公式LINEにてご連絡いたします。
- プログラム欠席の場合でも、事前のご連絡は必要ありません。
- 登録料は、2026年3月末まで(1年間)有効です。
- 大会参加費は、別途徴収させていただきます。詳しくは大会申込時に随時お知らせいたします。
- プログラム実施中に、主催者もしくは主催者が認めた者が撮影した写真、映像を、広報の目的で、ホームページや、チラシ、雑誌記事などで使用することがあります。あらかじめご了承ください。

◆ 連絡網のご案内 ◆

予定、時間変更の連絡は、「公式LINE」から送信されます。必ずご登録ください。

【公式LINEのルール】

- 一斉送信は、クラブからの連絡のみとします。
個人からの送信はしないでください。
- 忘れものなど、クラブへの問い合わせ・連絡は、各担当指導者へご連絡ください。
- 機種変更等による再登録は、各自で手続きを行ってください。

【登録方法】

- 下記QRコードを読み取り、登録をお願いします。



◆ お問い合わせ ◆

- 住 所 〒251-0035 神奈川県藤沢市片瀬海岸 3-26-15
□メールアドレス info@nishihama.org NPO法人 西浜サーフライフセービングクラブ 事務局 担当：村山

◆ 特別プログラム ◆

年間を通して開催する「特別プログラム」です。通常の定期プログラムでは物足りないメンバーのための特別プログラムです。海をもっと好きになりたい、海を楽しみたいという希望を満たすために、思いっきり泳いだり、ボードに乗ったり、波乗りしたりして、より海を満喫できるプログラムです。絶対に人間の思い通りにならない海の厳しさ、偉大さを知り、共に高め合い、励まし合うことで仲間との絆をより強めるのに絶好の機会ですので、ぜひご参加ください。

※日程の決定、参加費などの詳細は、後日ご連絡します。

◆ 保護者のみなさまへご案内 ◆

【大会の際のご協力をお願い】

大会の際、保護者の皆様へ、必要器材を分担して運搬していただくなどご協力をお願いしております。無理のない範囲でご協力いただければと思います。

器材リスト () 内は数量《大会や参加人数によって変更する場合があります。》

テント (2)、テントサイドシート、土のう袋 (12)、救急箱 (1)、レスキューチューブ (5)、ほうき、フラッグチューブ・マーカーセット、ニッパーボード (20)、タイムテーブル作成、油性ペン (5)、ブルーシート

※その他、保護者の方々に様々なことをご協力をお願いすることがあります。できることを無理なくご協力していただけるとありがたいです。よろしくお願い致します。

【その他活動のご案内】

●JLA 認定 サポーター講習会

「ジュニアプログラムのスタッフ補助として手伝いたい。」「プログラム中のサポートしたい」

「簡単なレスキュー技術を学びたい。」「BLS やウォーターセーフティ、ベーシック資格取得をしたいが、いきなりだと自信がないので、簡単に学べる場が欲しい。」こんなご要望にお応えする講習会を開催します。受講終了後には、日本ライフセービング協会 (JLA) より認定証を発行致します。保護者の皆様が対象になります。ぜひご参加ください。他にもBLS(心肺蘇生法)の講習会も開催しています。詳しくは、育成委員会よりご連絡します。

□日 時 年 4 回程度を予定。日時、詳細は追ってご連絡します。

□場 所 サーフビレッジ・鵜沼海岸等

□参加者 ジュニアプログラム参加者の保護者全員

□参加費 無料

□内 容 ライフセービング概論、応急手当、レスキュー法 (海での実技)

※講習受講者には、日本ライフセービング協会より認定書を発行いたします。

□申し込み 申込みは、後日お知らせします。

※活動中にケガ等あった場合は、ジュニアプログラムと同様に保険適応されます。

●サマーキャンプ

夏休みに開催する「海合宿」です。いつもとは違う環境で、思いっきり泳いだり、ボードに乗ったりして海を満喫できるたのしい合宿です。みんなとの共同生活の中で、仲間との信頼関係を築く絶好の機会ですので、ぜひご参加ください。

□日 程 7 月下旬～8 月

□対 象 小学 3 年生以上

□内 容 サーフスキル練習など ※日程、場所の決定、参加費などの詳細は、7 月初旬頃にご連絡します。

●西浜カップ

10 月の第 4 週のプログラムは、クラブの運動会の「西浜カップ」を実施します。

活動の内容などの詳細は、近くなりましたら、ご連絡します。

【保護者懇談会】

保護者のみなさまと、クラブとの意見交換会を行っております。今後のジュニアプログラムについて、ご意見をいただく貴重な機会となりますので、ぜひ皆様ご参加ください。

【クラブより】

当クラブでは参加する子どもたちの安全性と、最適な学びの場の継続的な運営のためと、お子さまとともに安心して海の活動に参加しやすい環境を整えることを目的として、クラブの運営に関わる役員のお子さまの月会費は免除としております。なお、大会や合宿、その他の特別イベントに参加される場合には、実費相当の参加費をご負担いただいております。

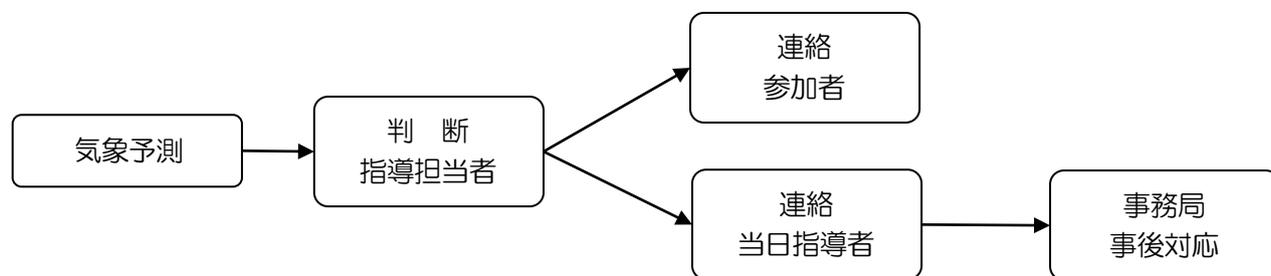
なお、皆さまからお預かりしている月会費等は、器材の購入・維持管理費、インストラクターへの謝礼、保険料、ならびにクラブ運営に必要な経費に充てさせていただいております。

今後も子どもたちが安全に自然の中で学べる環境の整備と、個々のペースに合わせた継続的な学びの場の構築を大切にしながら、透明性のある運営に努めてまいります。

◆ 安全対策について ◆

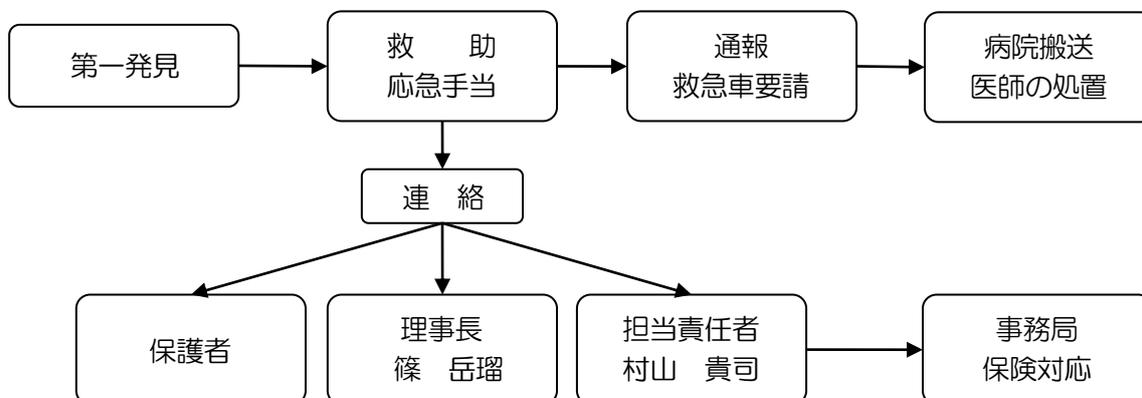
プログラム開催において、ライフセービングの基本方針に伴い『事故防止』を前提に参加者、指導者および周辺の利用者の安全を確保することを考え、以下のような安全対策を行なうものとしします。

●基本方針① 荒天時の対応



- 荒天時判断体制
- (1) 荒天が見込まれるときには、前日夜までに気象情報を収集しておく。
 - (2) 中止、開催場所の移動、内容の変更などの判断は、指導担当者により当日朝7時までに判断する。その後速やかに参加者へ連絡をする。
 - (3) 判断の基準は、以下を参考に行なう。
 - 風速：10m/s以上
 - 波高：6m以上
 - 視界：200m以下
 - その他：警報が発令されている場合

●基本方針② 事故発生時の対応



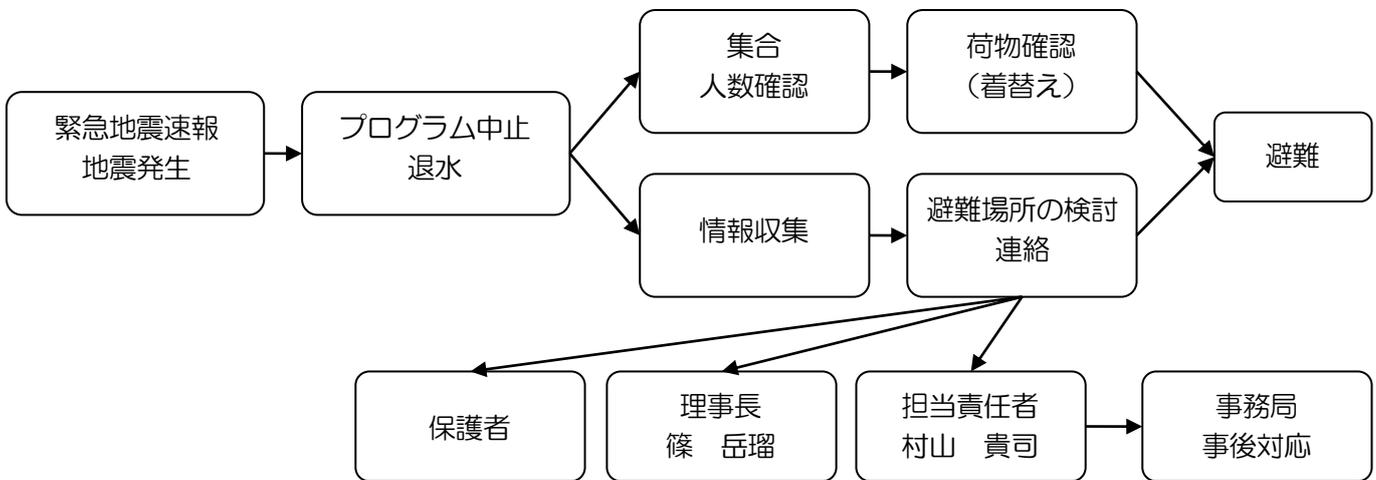
- 救護・救助体制 (1)怪我、病人、事故が発生した場合、指導者は手分けして速やかに対応する。
 (2)状況に応じ、指導者・スタッフによる救助・応急手当を施し、必要があれば病院へ搬送する。本人の意思、病状により判断すること。
 (3)事故対応後は、速やかに保護者、理事長、担当責任者まで連絡をする。
 (4)事故に備えて、救急用品を常備する。
 (5)当日の指導者は、通報・連絡に伴う手段を把握し、確保しておく。

●基本方針③ 地震、雷、火災発生時の対応

- (1)海岸では津波・雷に関する情報を入手し、発生が疑われる場合には速やかにプログラムを中止し、関係者、周辺の利用者を安全な場所へ避難・誘導すること。
 (2)プールや、施設内では、二次災害等を防止して避難・誘導すること。
 (3)火災発生時には、関係者、周辺の利用者の安全を確保し、速やかに消火活動に努め、必要に応じ119番通報を行なう。

◆ 津波に対する安全対策について ◆

●基本方針



- 集合場所 プログラムの内容、実施場所によって、それぞれ以下の3か所を集合場所とするが、状況によって変更する場合がある。

- ①ボードウォーク（ビーチクリーン集合場所）
- ②新江ノ島水族館前（イルカショープール横）
- ③サーフビレッジ（多目的ホール）

- 情報収集 地震発生後の津波に関する情報収集については、以下より入手する。

- ①防災無線（海岸設置のスピーカー）
- ②ラジオ（FAボックス、AEDとともに準備する）
- ③携帯電話（個人所有）

- 避難場所の検討 情報収集により予想津波規模、到達時間を加味し、段階ごとに避難場所を検討する。

※あくまでも基本方針であり、現場での冷静な判断を優先する。

- ◆方針Ⅰ <判断基準> 津波注意報、津波警報 1～5m などを基準にして検討。
<避難場所> ボードウォーク（階段状の高台でそのまま待機）
- ◆方針Ⅱ <判断基準> 津波警報 5m 以上、予想到達時間 10～30 分、などを基準にして検討。
<避難場所> 最寄りの津波避難ビル（鉄骨鉄筋コンクリート3階建て以上）
 ①ボードウォーク → 江ノ島メディカルモール付近の津波避難ビル
 ②新江ノ島水族館前 → 新江ノ島水族館屋上
 ③サーフビレッジ → マクドナルド付近の津波避難ビル
- ◆方針Ⅲ <判断基準> 津波警報 5m 以上、予想到達時間 1 時間以上、などを基準にして検討
<避難場所> 片瀬山公園

- 連絡方法
 - ①公式 LINE からの連絡
 - ②各ご家庭への電話連絡。
- 役割分担
 - ①「村山」（※左記の内、当日指導にあたっている者で対応）
プログラムの中止・退水指示、情報収集、避難場所の検討、避難指示、各種連絡
 - ②「各学年担当の指導者」
集合場所への移動、人数確認、荷物確認
 - ③「保護者の皆様」
荷物確認（着替え）、避難時の誘導補佐